

## 俳句部門

### 複数句の部

#### 【優秀賞】

「泳ぐ」

千田 大和

春眠し戯画の蛙の吐く煙

炒めつつ割くえりんぎや春の朝

電柱の影の伸びゆく春田かな

犬ふぐり水路に落ちて流れざる

鳥雲に今日はチャイムの鳴らない日

蛇穴を出づバス停に椅子一つ

永き日や坊主のわけをまた聞かれ

雁月のごま濃きところ春の雨

沿線の雑草蝶の見え隠れ

夏近し雲を遠くに昼の月

薔薇園や地図見る吾を抜かす人

たつぷりと波打つ水田家の裏

腹丸き蝙蝠がゐる網戸かな

子ども用カーットの両目トマト選る

グランドの蛇口に髪を洗ふ友

反抗期つひに来ることなく泳ぐ

ガチャガチャの値下げされをり夏休

帰省子の指や迷路を引き返す

昼寝覚血の巡りゆく足の裏

手を打てば鴉飛び立つ夏の川